

# qmail クイックセットアップ

2008年04月28日 05時20分11秒

qmail の大急ぎ設定メモはFreeBSDのports からのインストールなのでtarballからの細かい作業はすっ飛ばしてある。

## インストール

portinstall なり cd /usr/ports/mail/qmail; make install なりで済みます。

## ブートファイルコピー

/var/qmail/boot/ から自分の欲しい起動形式を /var/qmail/rc へコピーする。maildir 形式を使うのであれば /var/qmail/boot/maildir をコピーする。

```
root# cp /var/qmail/boot/maildir /var/qmail/rc
```

maildir形式は qmail のデフォルト。

## controlファイルの作成

/var/qmail/configure/config-fast スクリプトを実行する。/var/qmail/control/ 以下にファイルがとりあえず出来るのでこれらを書き直す。

### **/var/qmail/control/defaultdomain**

メールアドレスにドメインをつけなかった場合に補完される。

```
jar.jp
```

だった場合、メールアドレスに foo を指定するとfoo@jar.jp に補完される。

### **/var/qmail/control/locals**

ここに記述したドメインはローカル配送とし、外部へ配送しない。様はこのサーバ止まり。

```
jar.jp  
sub.jar.jp  
foo.co.jp
```

この例だとjar.jpsub.jar.jpfoo.co.jp ドメインはローカル配送。

## **/var/qmail/control/me**

このメールサーバのドメイン。大抵はサーバのFQDNとなる。

```
amanda.foo.bar.co.jp
```

上記は「ほにゃらら@amanda.foo.bar.co.jp」のドメインを扱うサーバだ、という指定。

## **/var/qmail/control/plusdomain**

メールアドレス最後にプラス記号「+」が付いていた場合に、このドメインを付けて補完する。

```
foo.ne.jp
```

例えばメールアドレスに len@wryyyy.crypton+ と指定しとくと len@wryyyy.crypton.foo.ne.jp になる。

## **/var/qmail/control/rcpthosts**

メールの受信可能ホストもしくはドメインを指定する。

```
192.168.100.200  
.foo.bar.jp
```

この例だと、192.168.100.200 のIPアドレス、もしくはドメイン最後が .foo.bar.jp で終わるFQDNのホストからの接続を許す。

## **/var/qmail/control/smtproutes**

外部配送時のSMTPサーバ指定。

```
par.ne.jp:inner.smtp.foo.jp  
.far.jp:outside2.smtp.jp  
:outer.smpt.foo.jp
```

この例は、

- ドメインが「par.ne.jp」のメールはサーバ inner.smtp.foo.jp へ配送する。
- ドメイン末尾が「.far.jp」のメールはサーバ outside2.smtp.jp へ配送する。
- それ以外はサーバ outer.smpt.foo.jp へ配送する。

## **aliasの設定**

サーバの root 充て、postmaster 充て、mailer-daemon 充てのメールを誰に送るかの指定。qmailではrootにメールを送ったりしない。

## **/var/qmail/alias/.qmail-root**

root宛てのメールの転送先を記述。

## **/var/qmail/alias/.qmail-postmaster**

postmaster宛てのメールの転送先を記述。

## **/var/qmail/alias/.qmail-mailer-daemon**

mailer-daemon宛てのメールの転送先を記述。

## **mailer.conf の書き換え**

```
/var/qmail/scripts/enable-qmail を実行すれば
amanda# ./enable-qmail
====> I hope you know what you are doing:
====> You just told your system to not
====> automatically start sendmail on your
====> next startup.
====> (i.e., added sendmail_enable="NONE" to rc.conf)
====> Do not forget to choose an appropriate qmail startup
====> script. Go through /var/qmail/boot, choose one
====> and copy the chosen script as /var/qmail/rc
====> For example, "cp /var/qmail/boot/proc+df /var/qmail/rc"
amanda#
amanda# cat /etc/mail/mailer.conf
# Configuration for mailwrapper is kept in /etc/mail/mailer.conf.
# Replace that file with this one to enable qmail under a sendmail
# disguise. Very useful.

sendmail      /var/qmail/bin/sendmail
send-mail     /var/qmail/bin/sendmail
mailq         /var/qmail/bin/qmail-qread
newaliases    /var/qmail/bin/newaliases
hoststat      /var/qmail/bin/qmail-tcpto
purgestat     /var/qmail/bin/qmail-tcpok
amanda#
```

程ほどにやってくれる。

## **起動**

```
amanda# /usr/local/etc/rc.d/qmail.sh start
```

qmail.sh は /var/qmail/rc へのシンボリックリンク。古いqmailのportsだとこのファイルはないから自分で /var/qmail/rc を起動するスクリプトを書いておく。

[FreeBSD](#), [qmail](#), [技術資料](#)

From:

<https://wiki.hgotoh.jp/> - 努力したWiki

Permanent link:

<https://wiki.hgotoh.jp/documents/quick/quick-0005>

Last update: **2023/04/14 02:32**

